

No.	質問	回答
1	鎌倉の魅力と、観光推進策の方針を教えてください。	<p>鎌倉は、中世の社寺や近代の別荘など様々な時代の建築、文化といった豊富な歴史的遺産が混在し、また、都心部と距離が近く生活都市としても発展している多様性が魅力です。鎌倉市で策定した「第3期鎌倉市観光基本計画」では、この魅力を踏まえ、市民にとっても観光客にとっても「住んでよかった」「訪れてよかった」と思えるような成熟した観光都市の実現を目指すべく、観光施策を推進しています。</p> <p>【参考】市ホームページ「第3期鎌倉市観光基本計画」  <a href="https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kankou/2016kihonkeikaku.html">https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kankou/2016kihonkeikaku.html</a></p>
2	鎌倉は観光客誘致に取り組んでいますか？	<p>鎌倉では、日帰り観光客が日中に多く来訪し、特定の地域に集中することで混雑や渋滞を引き起こしていることが課題となっているため、観光客の地域的、及び時間的分散化の対策を行っています。そのため、観光客数については現状維持を目標とし、来訪する観光客の満足度の向上など、質の高い観光の提供を目指しています。</p>
3	鎌倉の観光客の特徴である再来訪者が多いことの理由は何ですか。	<p>首都圏に位置し、交通のアクセスが良いこと、社寺、海岸、ハイキング、飲食といった、様々な年齢層に需要のある観光資源が豊富にあるためだと考えています。</p>
4	鎌倉の外国人観光客数はどれぐらいですか。	<p>毎年の算出はしていませんが、平成30年度に実施した調査では約63万人という結果でした。来訪者は中国、台湾、米国からの順で来訪者が最も多い結果となっています。</p> <p>【参考】市ホームページ「鎌倉市訪日外国人観光客実態調査業務調査報告提案書」  <a href="https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kankou/documents/foreigntourismreport2018.pdf">https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kankou/documents/foreigntourismreport2018.pdf</a></p>

No.	質問	回答
5	他の観光地と差別化するために行っている施策はありますか。	鎌倉のまちづくりの特性に適した施策を講じており、他の観光地と比較し差別化を図ることは行っていません。「住んでよかった、訪れてよかった」を基本理念とし、鎌倉の持つ歴史的・文化的遺産のほか、多様な魅力や価値を備えた「成熟した観光都市」の実現を目指しています。
6	少子高齢化により高齢者の数が急増する中で鎌倉はどのような観光施策を進めていますか？	「誰もが安全で快適につつまなく鎌倉で学び楽しめるように観光客を受け入れること」を目標に施策を行っております。高齢者だけでなく多くの方に観光を楽しんでいただけるよう、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した地図「バリアフリーマップin鎌倉」、バリアフリーマップin大船等の作成や多言語観光案内板の整備など、受入環境の整備を行っています。
7	年間の観光客数や消費額の推移を教えてください。	年間の観光客数調査や年間4回の対面アンケートを行い観光客数の公表や消費額の推計を行っています。観光客数については、延べ観光客数、実観光客数、宿泊客数、日帰り観光客数、消費額については宿泊費、飲食費、土産代、交通費等を冊子「鎌倉市の観光事情」にて公表していますので参考としてください。 【参考】市ホームページより「鎌倉市の観光事情」 <a href="https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kankou/kankoujijou02.html">https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kankou/kankoujijou02.html</a>
8	SNSの普及によって起こった観光政策に関するメリット、デメリットを教えてください。	SNSの普及に伴い、鎌倉市においても紙媒体を減らし、TwitterやHPを主として観光情報の発信を行っています。SNSが普及したことで、手軽に情報発信ができることにより、より多様な観光情報の提供が可能となりました。一方で、その手軽さから、誤情報が一度でも発信された場合に瞬時に拡散されてしまうこともあるため、正確な情報発信に努めています。

No.	質問	回答
9	鎌倉の観光市場はどのように変化していくと考えますか。	今後加速する国内の高齢化や人口減少に伴い日本人観光客は減少していくことが予想されます。そのため、訪日外国人旅行者を対象とした観光商品の付加価値の増大や観光客の滞在時間の延伸の実現による消費額の拡大を目指しています。
10	鎌倉市で観光事業が発展することで、市として何かメリットはありますか。	鎌倉市では観光客の方に入湯税や宿泊税といった税金を課してはませんが、観光客の消費の増大は商店街や宿泊施設等、市の産業が活性化することにつながり、雇用の拡大、市民所得の増大が期待できます。また、鎌倉市の魅力を発信し、観光客が来訪することで住民の郷土愛の醸成、観光客の定住促進につながることもなります。上記のような、観光振興による地域社会の活性化を目指し施策に取り組んでまいります。
11	鎌倉市にとって、宿泊客を増やしたいなどの思いはありますか？また、宿泊客を増やすための取り組みなどはしていますか？	鎌倉市は首都圏からのアクセスが容易なこともあり、日帰り観光客が多い傾向にあります。鎌倉市では宿泊客数を増やすことで消費額の増大を目指しています。
12	鎌倉市においてSDGsにはどのように取り組んでいますか？	企画課で掲載している第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画をご確認ください。観光分野については第6章「活力ある暮らしやすいまち」をご覧ください。 【参考：市ホームページ「第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画」】 <a href="https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/keiki/4th-plan/4th-masterplan-top.html">https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/keiki/4th-plan/4th-masterplan-top.html</a>
13	鎌倉の観光に関して、市民の理解をどのように得ていますか。	観光に関する市民理解の促進のためには、(1)市民の負担の軽減、(2)観光振興がもたらす利益について市民の理解を促進する必要があると考えています。 (1)市民の負担軽減のために、マナーの普及・啓発(例:マナーの向上のための条例周知)、交通渋滞や街なかの混雑への対策(例:江ノ島電鉄市民優先入場の実施)を行っています。 【参考：市ホームページ「江ノ電鎌倉駅西口改札における沿線住民等優先入場の社会実験について」】 <a href="https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koutsu/enodansocialexperiment.html">https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koutsu/enodansocialexperiment.html</a> (2)観光振興がもたらす利益についての市民の理解促進のために、観光消費の拡大による地域経済の活性化や、市全域への賑わい創出について周知を図っています。(例:駅前地図、市内パンフレット、校外学習生向けパンフレット、外国人観光客向けパンフレット等の作成及び発送手続の実施、四季を通じた自然や花の魅力についてSNSでの情報発信、鎌倉の知られざる名所の魅力を発掘し紹介)